

<報道関係者各位>



BRITA Japan 株式会社
2014年10月吉日

BRITA 「美味しさ見える化プロジェクト」 第一弾 AISSY 味博士が分析！ 水で変わる！？コーヒーの味覚分析を実施 自宅で淹れるコーヒーをさらに美味しくしたいと思っている人は8割！

BRITA Japan 株式会社(東京都渋谷区、代表者:山崎 利恵)は、「BRITA 美味しさ見える化プロジェクト」と称し、BRITA の水と様々な美味しさに関する分析を実施してまいります。

第一弾として、温かいコーヒーが飲みたくなるこれからの季節に合わせて、BRITA で浄水した水(以下、BRITA 浄水)と水道水、ミネラルウォーターの比較に加え、それぞれの水で淹れたコーヒーの味を分析いたしました。

BRITA Japan では、全国の20代から60代男女に、自宅で淹れるコーヒーについてアンケートを実施したところ、約半数が、自宅で淹れるコーヒーがおいしくないと感じることもあると回答しました。さらに、自宅で淹れるコーヒーをよりおいしくしたいと思っている人は8割にのぼることもわかりました。

また、使用する水によってコーヒーの味に違いが出るのかを探るべく、ヒトの感覚を模倣した分析・解析技術を用いた「味覚センサー」で味覚分析サービスを行う AISSY 株式会社(東京都港区、代表者:鈴木隆一)のご協力のもと、味博士こと鈴木隆一さんに分析して頂きました。

さらに、有限会社丸山珈琲(長野県北佐久郡、代表者:丸山 健太郎)のテイスターさんにもご協力を頂き、テイ스팅に基づくご意見も頂きました。

今回、それぞれの水と抽出コーヒーの比較分析を発表いたします。

分析結果概要

1. **BRITA 浄水が一番まろやかな味わいに！ “苦み”と“酸味”のベストバランス**
酸味が抑えられ、苦みとのバランスがとれることでまろやかな味わいに。
2. **BRITA 浄水はコーヒーをグレードアップさせる！？**
後味を長く残る傾向があり、高級品に見られる長く続く後味のコーヒーしてくれる。
3. **都会ほど効果的！？BRITA 浄水でコーヒーがおいしくなる理由とは**
水道水の時には分かりづらかったフレーバーがしっかりときれいを感じる。全体的にバランスのとれた味に。
4. **知っていましたか？コーヒーをマシンで淹れる際の注意点**
水垢の原因と対処方法。

※本リリースに含まれる分析結果をご掲載頂く際は、必ず「BRITA Japan 調べ」と明記下さい。

■ 味覚分析とは

今回の分析で使用した「味覚センサー」とは、AISSY 株式会社と慶應義塾大学の共同研究グループが開発した技術です。

■ ヒトが実際に感じる味を再現し、数値化

ヒトの味覚は「甘味」・「塩味」・「酸味」・「苦味」・「旨味」の基本五味から成り立っています。舌にある「味蕾」という細胞がこれら基本五味をキャッチし、ヒトは味を感じ取っています。そのメカニズムを模倣した「味覚センサー」により、その食品が持つ基本五味を数値化し、主観的な表現に陥りがちな「味」の「見える化」を実現しました。



味覚センサー

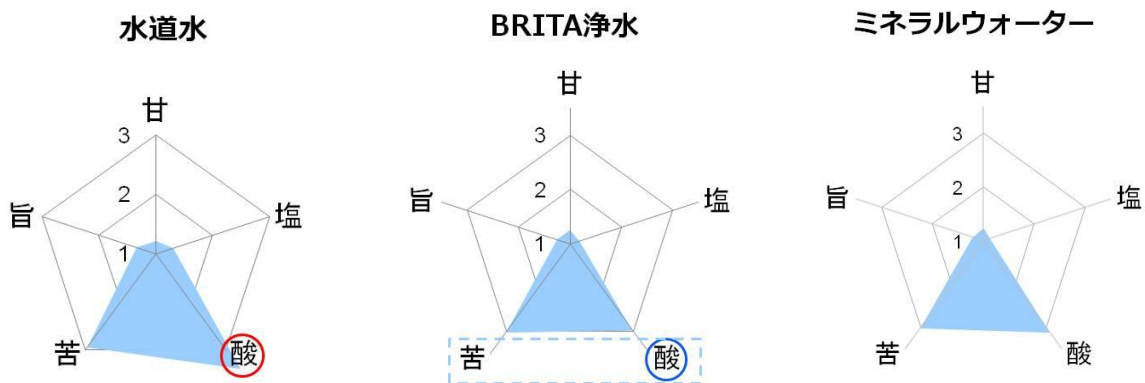
1. BRITA 浄水が一番まろやかな味わいに！“苦み”と“酸味”のベストバランス

水道水、BRITA 浄水、ミネラルウォーターを使用し、それぞれの水でコーヒーを淹れ、コーヒーの味を比較してみました。

一般的にコーヒーの味は、「甘み」と「酸味」と「苦み」と「コク」の 4 種類で構成されていると言われています。この 4 種類の味の強弱が、複雑かつ微妙に混ざり合っその個性を形成しています。コーヒーの特徴とされている、「苦み」と「酸味」のバランスを整えることによって、人がおいしいと感じる味わいになります。

水道水で入れたコーヒーは、酸味が突出していることがわかりました。BRITA 浄水、ミネラルウォーターで入れたコーヒーは、ともに各数値が近い値になっていますが、特に BRITA 浄水で入れたコーヒーが、一番苦みと酸味の数値が近似値であり、バランスのとれたまろやかな味わいにできるということがわかりました。

また、浄水器を通すことで、雑味を取り除くことができるため、素材本来の味を引き出してくれるとも言われています。



	甘味	塩味	酸味	苦味	旨味
水道水	1.21	1.3	3.4	2.95	1.34
BRITA浄水	1.25	1.18	2.97	3.02	1.25
ミネラルウォーター	1.24	1.13	3.11	3.01	1.22

そもそもの水の味の違いは？～水道水、BRITA 浄水、ミネラルウォーターの味の違い～

水道水と BRITA 浄水、ミネラルウォーターの水そのものの検査も行ったところ、同じ水であっても苦味や酸味という雑味の数に大きな違いがあることがわかりました。

味覚分析は「味覚」を絶対的な指標として数値化するもので、ヒトによる官能検査などと掛け合わせることで、傾向値として、どのような味が「おいしい」と感じやすいのかという指標を導き出しました。

5 味数値のうち、強い複数の味の強さが近いと強さがお互いを引き立て合い、色々な味わいが楽しめて「おいしい」と感じやすいと言われています。

水道水で強く出た塩味・酸味・苦味が BRITA を通すことでより甘味・旨味と近い数値になり、バランスの取れたまろやかな味覚になることが

わかりました。数値が 0.2 違うと約 95%の方が味の違いを認識できると言われておりますが、BRITA 浄水とミネラルウォーターでは 0.01～0.05 程の違いしか見られず、ミネラルウォーターとほぼ同等ということが出来ます。

	水道水	BRITAの水	ミネラルウォーター
甘味	1.05	1.03	1.07
塩味	1.08	1.02	1.09
酸味	1.1	1.05	1.04
苦味	1.11	1.04	1.03
旨味	1.04	1.03	1.03

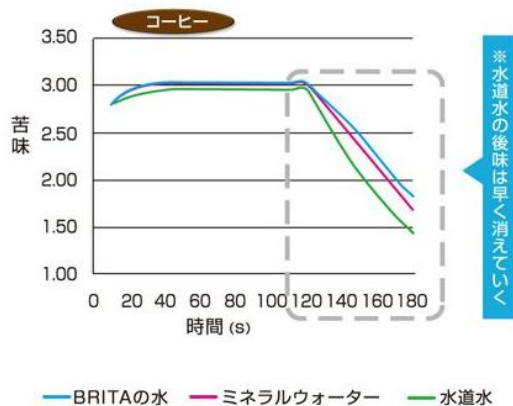
僅か0.01の差!!

2. BRITA 浄水はコーヒーをグレードアップさせる！？

コーヒーは上質なものの程、後味が長く残る傾向があります。

右の図より、BRITA 浄水で淹れたコーヒーは、水道水、ミネラルウォーターで淹れたものと比較した際に、苦みに関して後味が一番長く残り、一番余韻を楽しむことができるという結果が出ています。

水道水でなく、BRITA 浄水で淹れることで後味が長く残るようになり、コーヒーの味わいを、ランクアップさせられると言えます。



3. BRITA 浄水でコーヒーがおいしくなる理由とは

浄水することによって「カルキ臭さの除去」「不純物の除去」「硬度を和らげる」ことも、コーヒーの抽出に向いている理由の一つです。近年、スペシャルティコーヒーという考え方が広まり、より豆本来の特長や風味にこだわる人が増えています。これらのコーヒーの味や風味を左右するのが水です。特に都会の水は、カルキの量が多いため、重くなりすぎてしまった水が味に大きな影響を与えることもあります。浄水することは、カルキ臭が強く出る都会の水道水には、効果的と言えます。また、水に入る様々な不純物や余分なミネラル分が水の硬度を上げ、味に影響を与えていることもあります。それらを減らすことで、より一層豆の味が出やすい状態にすることが可能となります。

4. 知っていましたか？ コーヒーマシンを使って淹れる際の注意点

コーヒーマシンでコーヒーを淹れる際、ミネラルウォーターを使用しないように注意喚起しているマシンもあります。これは水に含まれるミネラルが、マシン内部に水垢を生じさせることがあるからです。

BRITA を使用すれば、余分なミネラル分を取り除いているため、マシンに負担をかけずにおいしいコーヒーを淹れることができるため、お勧めです。

これまでご紹介した科学的な数値による分析とは別に、実際に BRITA 浄水で淹れたコーヒーと、水道水で淹れたコーヒーとを、丸山珈琲さんの品質管理を担当されているテイスター 渡辺氏に飲み比べて頂き、コメントを頂きました。



<“コーヒーのプロ” 丸山珈琲 テイスター 渡辺氏のコメント>

”BRITA の水”と”水道水”の違いとは

BRITA 浄水で淹れたコーヒーは、水道水で淹れたものと比較すると、爽やかさやアフターテイストの伸び、口当たりの柔らかさなど、全体的にバランスのとれた味わいでした。

コーヒーの抽出には硬度が重要な要素の1つと言えるため、それを和らげ、味がよく出るような状態にすることで、質感もより丸みや潤いを感じる状態や、水道水の時には分かりづらかったフレーバーも、しっかりときれいに感じるができるのだと思います。水道水をそのまま使うよりも、一度浄水したもので淹れることで、良い状態のコーヒーを味わえると言えるでしょう。

BRITA 浄水を使用して、自宅で淹れるコーヒーをより一層グレードアップさせてみてはいかがでしょうか。BRITA Japan では、ポット型浄水器のリーディングブランドとして、安心でおいしい水とともに皆様の暮らしに役立つ情報をこれからも発信してまいります。

【分析概要】

○分析対象：水道水、BRITA でろ過した水道水、ミネラルウォーター（国産）

○分析方法：

＜分析対象＞ 水道水、BRITA でろ過した水道水、ミネラルウォーター

＜方法＞ 水：常温にて検査

コーヒー：レギュラーコーヒー（生豆生産国：ブラジル、コロンビア他）を使用

コーヒー15g に対してやかんで沸騰させたお湯 150ml をペーパーを通して

抽出し、分析を行った

※本リリースに含まれる分析結果をご掲載頂く際は、必ず「BRITA Japan 調べ」と明記下さい。

【BRITA について】

ブリタは、1966 年ドイツで誕生。現在では、17 の子会社、40 のパートナーシップのもと、世界 60 カ国以上で広く親しまれている浄水器のリーディングブランドです。欧州では家庭用浄水器だけでなく、業務用ろ過システムの開発、製造、販売も展開しています。

■会社名：BRITA Japan 株式会社（ブリタ・ジャパン株式会社）

■本社：東京都渋谷区神宮前 6-19-20 第 15 荒井ビル 7F

■ウェブサイト：www.brita.co.jp / モバイルサイト：www.m.brita.co.jp